

世界史暗記テキスト

第1部 ヨーロッパ

第2部 アジア

5. その他のヨーロッパ諸国

古代・中世⑫ 《イタリア》¹西ローマ帝国は476年オドアケルにほろぼされ、²493年にはテオドリックの東ゴート王国、³500年代なかばには東ローマ皇帝ユスティニアヌスがイタリア半島を支配した。まもなく⁴半島は南部をのぞいてロンバルト王国領となったが、⁵756年以降中部イタリアに教皇領が成立し近代までつづいた。⁶北イタリアは774年ロンバルト滅亡とともにフランク王国の領土となり、⁷800年代なかば中部フランクとしてカール大帝の孫ロタールが相続し、⁸900年代後半からはオットー1世の神聖ローマ帝国がうけついだ。いっぽう⁹半島南部ではノルマン人が東ローマの支配をしりぞけ、1130年以降両シチリア王国、1282年の反乱（シチリアの晩鐘）¹⁰後はナポリ王国となって近代に至った。¹¹1400年代のルネサンス期には神聖ローマ帝国（ドイツ）が弱体化し、北イタリアにヴェネツィア・フィレンツェなど都市共和国が分立、¹²教皇党（ゲルフ）と皇帝党（ギベリン）の党争もつづき、1500年代には独・仏によるイタリア戦争もおこった。

イタリア統一⑪¹ウィーン体制下のイタリアではカルボナリ党（炭焼党）^{すみやき}が結成され、1820・21年に立憲革命を試みたがオーストリア軍に鎮圧された。²北西イタリア（ピエモンテ）とサルデーニャ島を領地とするサルデーニャ王国では48年憲法が制定され、イタリア統一をめざしてオーストリアに宣戦したが敗れ、その³翌年にはマッツィーニの青年イタリアがローマ共和国を建設したがフランス軍に鎮圧された。しかし⁴サルデーニャでは新王ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世が自由主義者カヴールを首相に任じ、産業開発や修道院への課税を断行して統一の力をやしなった。そして⁵ナポレオン3世と結び、59年オーストリアを破ってロンバルディアをえ、⁶60年サヴォイア・ニースをフランスにゆずるかわりに中部イタリアを併合した。いっぽう⁷青年イタリアのガリバルディも同年両シチリア王国（旧ナ

- 木綿工業⑥ ¹木綿工業では1733年、ジョン=ケイが飛び杼^ひを発明し、²64年ハーグリーブズは多軸紡績機^{たじくぼうせきき}（ジェニー紡績機）、³69年アークライトは水力紡績機、⁴79年クロンプトンはミュール紡績機、⁵85年カートライトは力織機^{りきしよつき}を発明し、⁶93年ホイットニー（米）は綿繰り機^{わたく}を発明して米南部の綿花生産を急増させた。¹ニューコメンは10年に蒸気ポンプ、²ワットは69年実用的な蒸気機関をつくって動力に利用され、また¹13年ダービー（父）は石炭製鉄法、さらに²35年ダービー（子）はコークス製鉄法を発明した。
- 蒸気機関②
- 製鉄法②
- 交通機関③ 1700年代後半には英国内に運河網が形成されたが、¹1804年トレヴィシックは蒸気機関車を発明し、これが²25年スティーヴンソンによって実用化され、ストックトン・ダーリントン間に鉄道が開通した。³07年フルトン（米）は蒸気船を建造、19年サヴァンナ号が大西洋横断に成功した。
- 各国の産業革命⑥ ¹英国は産業革命の先頭を切って“世界の工場”となり、綿工業のマンチェスター、港湾のリヴァプール、製鉄業のバーミンガムが繁栄した。²フランスは革命で自営小農民が増えたために労働力が不足し、資本蓄積もおくれたが、30年七月革命後から軽工業が発展した。³30年に独立したベルギーも国内の鉄・石炭を活用してこれにつづき、⁴ドイツ・アメリカは50年代から重化学工業が発展して英国を追いこし、⁵ロシアは91年露仏同盟によるフランス資本流入を機に、⁶日本は1895年日清・1905年日露両戦争での勝利を機に産業革命が本格化した。
- 問題点③ 産業革命は¹人口を都市に集中させて選挙法改正の運動を生み、²資本家・労働者の2大階級が生まれて労働運動^{ぼつこう}が勃興した。また³分業によって女性や子供も低賃金・長時間労働を強いられ、社会問題となった。

3. 現代

《帝国主義》 1700年代～1800年代前半までを第1次産業革命とよび、

禁じ、⁵乾隆帝は文字の獄、禁書を行って統制を強めた。

西欧使節⑤

《西洋文化》¹1245年ローマ教皇はプラノ=カルピニをモンゴル高原に派遣し、²仏王ルイ9世も使節ルブルックを送った。西欧諸国は新興のイル=ハン国と使節を交換し、ついで³モンテ=コルヴィノが教皇庁から派遣されて大都の大司教となった。いっぽう⁴イタリア商人マルコ=ポーロはフビライに仕え、帰国後『世界の記述（東方見聞録）』を口述し、元末に訪れた⁵旅行家イブン=バットゥータも『三大陸周遊記』を著した。

宣教師⑦

¹アジア布教をめざすイエズス会は、1549年フランシスコ=ザビエルを日本に送り、彼が中国布教の途上、広州港外で病死した後も、次々に宣教師を派遣した。彼らは明末清初の宮廷に西洋科学を紹介して信用をえた。
²マテオ=リッチ（利瑪竇/伊）は明人の入信者徐光啓とともに『幾何原本』を著してエウクレイデス幾何学を紹介、また世界地図『坤輿万国全図』を作った。³アダム=シャル（湯若望/独）も徐光啓とともに『崇禎曆書』を作成し、清朝の天文台長官となった。⁴フェルビースト（南懷仁/ベルギー）はアダム=シャルとともに大砲を鑄造し、⁵ブーヴェ（白進/仏）は康熙帝のもとで中国全図『皇輿全覽図』を作成し、⁶カスティリオーネ（郎世寧/伊）は西洋画法を紹介し、北京郊外に円明園を建設した。いっぽう彼らを通じて⁷科挙・宋学・造園術などの中国文化が西洋に紹介された。

キリスト教
布教④

イエズス会は布教を促進するため¹宣教師みずから中国服を身につけたり、孔子崇拝や祖先の祭祀を尊重したが、これに²他派の宣教師が反対する典礼問題がおこった。³ローマ教皇がイエズス会の布教方法を否定すると、康熙帝はイエズス会以外の布教を禁じ、さらに⁴1724年雍正帝はキリスト教布教を全面的に禁止した。

5. 東アジア